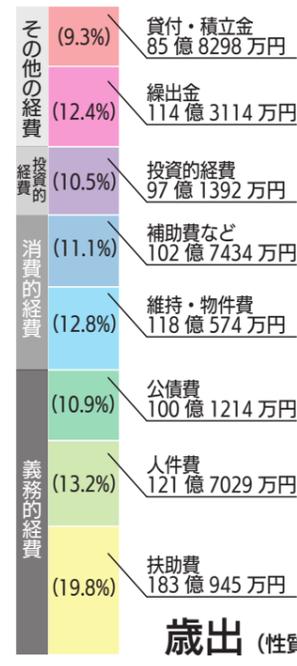
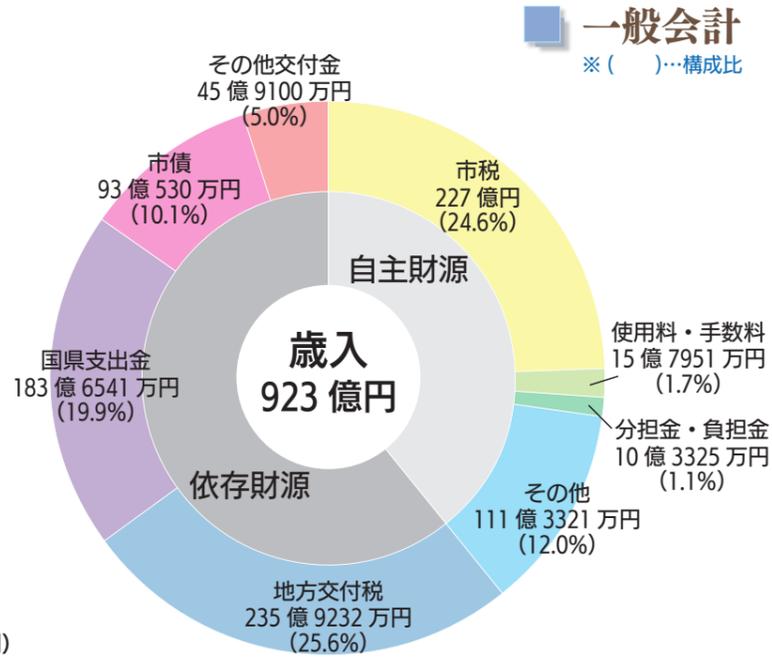


明るい未来を築く『ひと・しごと・まち』創生予算

問い合わせ先 本庁舎行財政改革課 ☎0857-20-3111 ☎0857-20-3040

一般会計



市町村合併以降最大の「積極型予算」

平成28年度は、第10次鳥取市総合計画と鳥取市創生総合戦略の取り組みが本格化する年度であり、本市がめざますまちづくりを着実に進めるためのスタートダッシュをかける大変重要な年です。

このことを踏まえて、従来の取り組みに加えてきめ細かな事業にも積極的に取り組むこととした結果、一般会計の予算額は、923億円（対前年度比1.6割増）となりました。

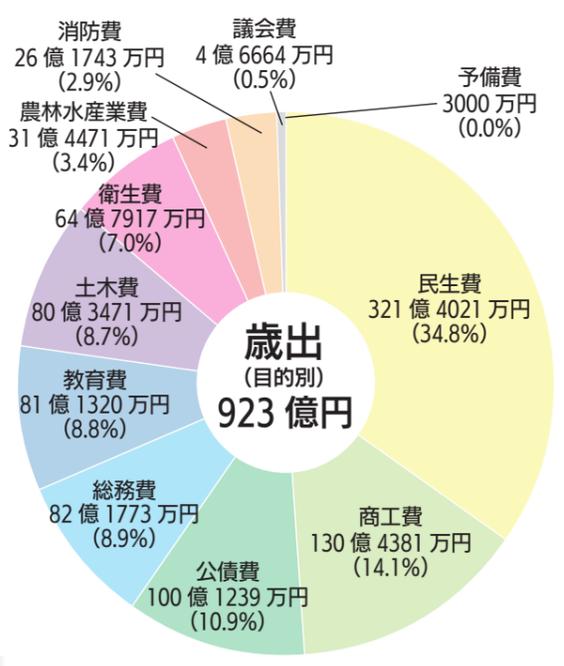
鳥取市版地方創生の推進

まちづくりの原動力となる「ひと」を大切にす観点から、本市が進める地方創生は「まち・ひと・しごと」ではなく「ひと・しごと・まち」の順番に意を用いています。特に重点的に取り組む「ひ

「健全財政」の堅持

予算編成後の年度末市債（借金）残高見込みは、10年振りに微増となつていますが、これは臨時財政対策債（※）の残高が増加しているためです。これを除く通常債で見れば、対前年度17億9569万円の減となり、10年前の約6割まで下がっています。

また、基金（貯金）も27年度中に計画的に積み増しを行ったこともあって、年度末残



特別会計

会計区分	予算額
土地区画整理費	1億3286万円
簡易水道事業費	18億9109万円
公設地方卸売市場事業費	3540万円
駐車場事業費	2617万円
国民健康保険費	221億6756万円
高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費	535万円
住宅新築資金等貸付事業費	3738万円
土地取得費	95万円
墓苑事業費	2177万円
介護保険費	186億9315万円
財産区管理事業費	635万円
温泉事業費	4979万円
観光施設運営事業費	1105万円
介護老人保健施設事業費	1億9565万円
後期高齢者医療費	19億3743万円
電気事業費	2729万円
計	452億3924万円

企業会計

会計区分	予算額
水道事業	62億9343万円
工業用水道事業	655万円
下水道等事業	165億8303万円
病院事業	97億4318万円
計	326億2619万円

用語解説

（※）臨時財政対策債
地方交付税を配分できないかわりとして国が特別に発行を認めた地方債。その償還金は後年度の地方交付税で全額措置される。

主な事業

I 次世代の鳥取市を担う“ひとづくり”

- ①教育の充実・郷土愛の醸成
 - ◆中学生の海外研修を実施
グローバル人材育成事業費（467万円）<新規>
 - ◆インターナショナルドリームカップ開催
パードスタジアム20周年記念事業（737万円）<新規>
 - ◆中学校校舎改築工事（3校）（15億6000万円）
- ②結婚・出産・子育て支援
 - ◆多子世帯の保育料軽減対策<新規>
同時在園の第2子保育料を無償または5分の1
 - ◆小児特別医療助成の対象者を18歳に達する年度末までに拡充（6億2000万円）<新規>
 - ◆新生児の聴覚検査・妊娠期における歯科健診費用に対する助成（443万円）<新規> など



子育て支援

II 誰もが活躍できる“しごとづくり”

- ①地域経済の再生と産業の底上げ、人材確保と育成強化
 - ◆起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費（1510万円）<新規>
 - ◆中小企業金融対策・企業立地促進関連などの制度融資資金（86億3000万円）
 - ◆布袋工業団地整備事業費（15億4000万円）
- ②人材確保と育成強化
 - ◆「鳥取みらい雇用創造ぶん」推進事業、人材確保推進事業（3549万円）
 - ◆農林水産業の担い手育成支援関連事業（9543万円） など



農林水産業担い手育成支援

III にぎわいにあふれ安心して暮らせる“まちづくり”

- ①ふるさと・いなか回帰の促進
 - ◆お試し定住体験施設の増設（2棟）ほか
人材誘致・定住促進対策事業費（4781万円）
- ②交流人口の拡大
 - ◆高齢者運転免許証自主返納支援事業費（250万円）<新規>
 - ◆擬宝珠橋の復元に着手
鳥取城跡保存修理事業費（2億5000万円）
- ③住み良い環境づくり
 - ◆気高道の駅（仮称）整備事業費（2億2000万円）<新規>
 - ◆年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業（3万円/人）（1億1000万円）<新規>
 - ◆保育園・中学校屋内運動場・地区体育館・地区公民館・集会所などの耐震事業費（12億円）
 - ◆用瀬アルプス登山道整備事業（555万円）<新規> など



定住促進対策